



発行 ● 狛江市地域活性課
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp
編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階 A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743

福祉向上へ多彩な活動展開



市内では多くの団体が地域福祉の向上をめざしてさまざまな活動を行っている。

狛江市赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、生命と健康を守るために災害救護をはじめ救急法の講習などの普及啓発・血液・社会福祉などの事業を行っている。

「狛江市赤十字奉仕団」(清水豊子委員長)は、昭和52年に狛江市農業協同組合婦人部(当時)、狛江市婦人会、狛江市ときわ婦人会の会員約80人が集まって



献血を呼びかける狛江市赤十字奉仕団

発足、昨年40周年を迎えた。発足当時は、市内数カ所で行う献血の呼びかけが活動の中心だったが、平成7年の阪神・淡路大震災をきっかけに被災者支援の活動の必要性が叫ばれ、活動の範囲が広がった。

狛江市赤十字奉仕団では現在31人の団員が、市内で行われる防災・水防訓練や減災イベントで炊き出し訓練を行うほか、被災地支援の義援金や年末の街頭募金、街頭献血の呼びかけ、救急法と三角巾による応急手当講習、狛江市民まつり、ボランティアのつどい、社会を明るくする運動、多摩川清掃などの美化運動などに参加している。また、「こまえ苑」で洗濯物をたたむ奉仕活動に加え、「こまえ正吉苑」の夏まつりへの参加、献血やイベントなどで配布するアクリルたわしや置物などの小物を作る講習会など多岐にわたる活動を行

地域福祉①

っている。清水委員長ら団員たちは「入団すると救急法など知識が得られるので、いざという時も落ち着いて行動できます」と話し、「団員の多くがシニアの女性なので、もっと若い人に参加してほしいです」と入団を呼びかけている。

学院への留学生在に生活費や研究のための奨学金を支給したり、世界各国の高校生と相互交換で1年間ホームステイを行うなど、国際交流に多大な貢献をしている。狛江市内では2つのクラブがこうした活動に加え、地域に根ざした独自の活動を行っている。「東京狛江ロータリークラブ」(栗山正美会長)は昭和46年に発足し、19人の会員が所属。「災害のない町づくり」をめざした東京消防庁音楽隊コンサートの開催、愛光女子学園に講師を派遣し生徒の社会復帰の支援活動などを行っている。今年度からは都内19のロータリークラブと合同でカンボジアでの教師育成プログラムに協力している。

栗山会長は「消防庁音楽隊のコンサートや愛光女子学園への講師派遣は、地域で長く支持されており、これからも続けていきたい」と話し、「会員になって一緒にボランティアをしませんか」と呼びかけている。

「国際ソロプチミスト東京-狛江」(相馬富貴子会長)は平成7年に発足し、現在15人が活動を行っている。発足時から愛光女子学園の支援をしており、近年は「夢を拓く」プロジェクトとして、生徒が将来の夢や目標を持つための手本になるような講師を派遣し、キャリア・ガイダンスの実施、所属する地域団体のなかで大きな評価を受けた。これらの支援活動の資金をつくるため、チャリティーバザーやコンサートに力を注ぐほか、多摩川清掃などの市民活動に参加、公開講座や講演会などの奉仕活動を行っている。相馬会長は「同じ目的を持つ会員が力を合わせることで大きな奉仕活動と地域貢献ができます。また、女性の立場から男女共同参画などについて積極的に参加し、意見を発信できることも魅力です」と話している。

問い合わせ ☎ 3480-3225 相馬さん。



東京狛江ロータリークラブの音楽会

「国際ソロプチミスト東京-狛江」(相馬富貴子会長)は平成7年に発足し、現在15人が活動を行っている。発足時から愛光女子学園の支援をしており、近年は「夢を拓く」プロジェクトとして、生徒が将来の夢や目標を持つための手本になるような講師を派遣し、キャリア・ガイダンスの実施、所属する地域団体のなかで大きな評価を受けた。これらの支援活動の資金をつくるため、チャリティーバザーやコンサートに力を注ぐほか、多摩川清掃などの市民活動に参加、公開講座や講演会などの奉仕活動を行っている。相馬会長は「同じ目的を持つ会員が力を合わせることで大きな奉仕活動と地域貢献ができます。また、女性の立場から男女共同参画などについて積極的に参加し、意見を発信できることも魅力です」と話している。

「国際ソロプチミスト東京-狛江」(相馬富貴子会長)は平成7年に発足し、現在15人が活動を行っている。発足時から愛光女子学園の支援をしており、近年は「夢を拓く」プロジェクトとして、生徒が将来の夢や目標を持つための手本になるような講師を派遣し、キャリア・ガイダンスの実施、所属する地域団体のなかで大きな評価を受けた。これらの支援活動の資金をつくるため、チャリティーバザーやコンサートに力を注ぐほか、多摩川清掃などの市民活動に参加、公開講座や講演会などの奉仕活動を行っている。相馬会長は「同じ目的を持つ会員が力を合わせることで大きな奉仕活動と地域貢献ができます。また、女性の立場から男女共同参画などについて積極的に参加し、意見を発信できることも魅力です」と話している。

問い合わせ ☎ 3488-6665 東京たまたがわロータリークラブ。

「国際ソロプチミスト東京-狛江」(相馬富貴子会長)は平成7年に発足し、現在15人が活動を行っている。発足時から愛光女子学園の支援をしており、近年は「夢を拓く」プロジェクトとして、生徒が将来の夢や目標を持つための手本になるような講師を派遣し、キャリア・ガイダンスの実施、所属する地域団体のなかで大きな評価を受けた。これらの支援活動の資金をつくるため、チャリティーバザーやコンサートに力を注ぐほか、多摩川清掃などの市民活動に参加、公開講座や講演会などの奉仕活動を行っている。相馬会長は「同じ目的を持つ会員が力を合わせることで大きな奉仕活動と地域貢献ができます。また、女性の立場から男女共同参画などについて積極的に参加し、意見を発信できることも魅力です」と話している。



otary 東京たまたがわロータリークラブのKOMAEチャンスクラブ

訓練の支援などを行っている。来年度は、平成27年に催して人気をよんだふれあい動物園を開催する予定。

中野会長は「ロータリークラブは国際的な活動なので、地域の人と連携して国際理解を深める活動をしていきたい。今年度は都立狛江高等学校とタイアップした国際交流に関わる事業を予定しています」と話している。

問い合わせ ☎ 3488-6665 東京たまたがわロータリークラブ。

国際ソロプチミスト東京-狛江

国際ソロプチミストは女性の世界的な奉仕団体で、社会的・経済的に力をつけることができるプログラムを通じて女性や女性の生活を向上させるという目的で活動している。主要なプロジェクトである「夢プログラム」では、離婚などさまざまな理由で家庭の経済的責任を負う女性が生活向上をめざし、技術や技能を習得するために資金援助を行うほか、女子中高生のためにキャリア・サポート事業を行っている。

「国際ソロプチミスト東京-狛江」(相馬富貴子会長)は平成7年に発足し、現在15人が活動を行っている。

発足時から愛光女子学園の支援をしており、近年は「夢を拓く」プロジェクトとして、生徒が将来の夢や目標を持つための手本になるような講師を派遣し、キャリア・ガイダンスの実施、所属する地域団体のなかで大きな評価を受けた。これらの支援活動の資金をつくるため、チャリティーバザーやコンサートに力を注ぐほか、多摩川清掃などの市民活動に参加、公開講座や講演会などの奉仕活動を行っている。相馬会長は「同じ目的を持つ会員が力を合わせることで大きな奉仕活動と地域貢献ができます。また、女性の立場から男女共同参画などについて積極的に参加し、意見を発信できることも魅力です」と話している。



ソロプチミスト東京-狛江のチャリティーバザー

けた。

これらの支援活動の資金をつくるため、チャリティーバザーやチャリティーコンサートに力を注ぐほか、多摩川清掃などの市民活動に参加、公開講座

や講演会などの奉仕活動を行っている。相馬会長は「同じ目的を持つ会員が力を合わせることで大きな奉仕活動と地域貢献ができます。また、女性の立場から男女共同参画などについて積極的に参加し、意見を発信できることも魅力です」と話している。

問い合わせ ☎ 3480-3225 相馬さん。

狛江青年会議所

青年会議所は20歳から40歳までの青年が、青少年の健全育成、スポーツ振興、ボランティア、国際交流、地域特性を生かしたまちづくりなどの活動に取り組んでおり、世界各地に組織がある。

「狛江青年会議所」(長島理理事長)は昭和55年に発足し、15人の会員が青少年育成活動を中心としたさまざまな事業を展開している。狛江市民まつり実行委員会の構成団体のひとつで、多摩川

いかだレースにも毎年参加している。また、昨年の市民まつりでは子ども向けにシミュレーターを使った「ちびっこ自転車講習会」を催し、人気をよんだ。ことは「万里一空～未来を見据えて挑戦し続けよう～」をスローガンに、3月に防災関連事業として非常食・保存食を使ったイベントを催す予定。5月には、昨年雨で中止した「狛江宝探しゲーム」を催し、参加者に市内の史跡を巡って狛江の歴史を知り、地域

への支援などを行っている。

現在、調査・研究などは4人、健康体操は20人の会員と活動している。会員たちは「今後は空き家などを利用して、赤ちゃんからお年寄りまでが気軽に集える居場所を増やし、ちょっとした助け合いの仕組みができるよう環境を整えていきたい」と話している。

問い合わせ ☎ 3489-1422 角田さん。

に触れ合ってもらうことにしている。

長島理事長は「ことしも狛江に必要な事業を催していきたいと考えています。狛江の魅力を知っていただけるようがんばるので、市内外から多くの人に参加してほしいです」と話している。

問い合わせ ☎ 3480-5251 狛江青年会議所事務局。

わっかの会

「狛江市民たすけあいネット わっかの会」(角田あゆみ代表)は、「おたがいさま」の関係をつくり、だれもが安心して暮らせる地域づくりをめざして、さまざまな調査やマップづくり、講座やワークショップの開催などを行っている。

平成17年に発足し、認知症対応のグループホームや有料老人ホームなど高齢者の住まい方や在宅ケアのサービス、市内の道路、公共施設、医療機

関、店舗などのバリアフリー対応、高齢者を取り巻くさまざまな課題などについて調査を行い、狛江市への提案も行っている。このほか市民が考える地域包括ケアの研究、調査や研究の成果を「ボランティアのつどい」「中央公民館のつどい」「いべんと西河原」などで発表したり、学

習会を開いている。また、シニアを対象にした健康体操

への支援などを行っている。現在、調査・研究などは4人、健康体操は20人の会員と活動している。会員たちは「今後は空き家などを利用して、赤ちゃんからお年寄りまでが気軽に集える居場所を増やし、ちょっとした助け合いの仕組みができるよう環境を整えていきたい」と話している。

問い合わせ ☎ 3489-1422 角田さん。



調査を基に大きなマップを作るわっかの会